

【意見・要望】

体系案等への委員からの意見及び対応状況等（R2.12照会）

区分	回答者	回答内容	対応
新たな視点	唐木委員	若者・・・ 若い女性が暮らしたい、働きたい・・・ →若い女性が働きたい、暮らしたいと思える・・・	御意見のとおり変更しました。
	根橋委員	「SDGsの理念を踏まえる」視点に、「誰一人取り残されることのない社会の実現」を盛り込めないか。 SDGsの理念を踏まえた目指すべき地域社会の姿は、「持続可能性」と「包摂」を基底に置き、年齢や性、国籍の違い、障がいの有無などにかかわらず多様性を受け入れ、互いに認め支え合い、「誰一人取り残されることのない社会」の実現であると考えている。	御意見の趣旨は、新たな視点の説明の中に盛り込みました。
		新たな視点として「社会・経済の活力や持続性の維持・向上」を盛り込めないか。 企業や社会にとって労働力の確保はもとより、女性の能力や視点を生かすことが、多様性が叫ばれる中での新たなリーダーシップを構築していく。そのことが、コロナ禍で露呈した、男性中心社会による経営や経済における限界や閉塞感を突破し、新たな価値を生み出すことにもつながる。性別にかかわらずだれもが安心・納得して多様な個性や能力を發揮しながら働き暮らすことができる機会や生き方の選択肢が保障されることは、社会・経済の活力や持続性の維持・向上につながり得るものと考えている。	御意見の趣旨は、施策を進める上でめざすべきものと認識しています。
福盛委員	「若い女性が暮らしたい、働きたいと思える環境をつくる」は特に重要かと思えます。 労働力が減少していく少子高齢社会にあって、働き方の性別役割分担がまだ顕著であり、それが結果的に単身女性、またはシングルマザーの働く環境を大いに阻害し、ひいては貧富の差を広げています。 長野県は移住したい都道府県に常に上位にいますが、単身女性で見たときに、ひとりで移住したとして、「暮らす働く」を両立できる環境は非常に限定されています。 単身で暮らすにはとても足りない賃金、よほどの専門性がないと受け入れてもらえない転職市場の現状など、このあたりに大きくメスを入れていくことが重要かと思えます。 女性が働きたいと思える環境づくりは、長い目で見れば結果的に男女ともに働きやすい環境につながっていきますので、「したい」も大切ですが働ける・暮らせるといった「できる」の部分に政策のサポートがあればよいかと思えます。	「働ける」「暮らせる」環境ができることで、「働きたい」「暮らしたい」と思えるようになると考えられるため、事務局案のままとしました。	

区分	回答者	回答内容	対応
新たな視点	福盛委員	「ダイバーシティの視点を取り込む」もとても大切で、上記のアンサーソングとして男性の働き方・生き方に改革の視点を入れていく必要があると思っています。長時間労働で家のことができなければ、結果的に現在の社会環境では女性が家を一人で背負うこととなります。それぞれの環境を抱えた人が職場にいる、地域にいるということを前提に、画一的ではなく、多様なライフスタイル・ワークスタイルを認め合っていく、それを前提として組織づくりコミュニティづくりをしていくことが重要です。 現状は女性が中心になって作られて（しまっている）コミュニティは、実は女性中心ではなく、労働において男性が主、女性が副となっている家族構成で機能する状態になっています。（例えばPTAとか町内会とか。） ワークスタイルの変化と合わせて、こういったコミュニティの在り方もサポートしていける状態を作ること、性差、年齢差、さまざまな区分けを乗り越えた新しいコミュニティ、そこからの活動や成果が生まれると思います。	御意見の趣旨は、素案本文作成に当たり、参考としました。
	古田委員	よいと思うが、「SDGsの理念を踏まえる」は、この書き方だと当たり前すぎる。男女共同参画計画に加える意味みたいなものがわかった方がよい。「SDGsを達成するにはジェンダー平等の達成が不可欠」みたいな・・・。 *参考 「持続可能な開発のための2030アジェンダ」から ジェンダー平等はの実現と女性・女児のエンパワーメントは、すべての目標とターゲットにおける進展において死活的に重要な貢献をするものである。 ダイバーシティには（多様性）と書き加えた方がよいのでは。	御意見の趣旨については、新たな視点の説明の中に盛り込みました。 追記しました。
めざす姿	尾臺委員	1本にまとめることは県民へのメッセージとしてシンプルで伝わりやすくなるという点でたいへん良いと思います。 一方で、多岐にわたる内容を理解しやすい言葉で表現することの難しさも感じます。	多様性をめざしながら、男女共同参画社会がイメージできる表現としました
	唐木委員	人権教育と同じ表現 → 男女共同参画の視点での表現があっても・・・	
	山極委員	「多様性が尊重され自己実現できる長野県」 ⇒「多様性が尊重され誰もが自分らしく自己実現できる長野県」	
計画体系	尾臺委員	テーマⅠの重点目標1(4)は(1)～(3)と重点目標2の中に包含されていると思いますが、ほかの意味合いがありますか？	重点目標1(4)は、女性がリーダーの育成を念頭に置いているため、「能力発揮」を「リーダーの育成」に変更しました。併せて、重点目標2(4)は重複感があるため削除し、順番を1つつ繰り上げ、内容は他の基本的方向へ組み入れました。

区分	回答者	回答内容	対応
計画体系	唐木委員	テーマⅠ 重点目標 2 (3)→(5)、(4)→(3)、(5)→(6)、(6)→(4) ※(1)(2)(4)(6)：職場の環境と関わる項としてまとめた方が良いのでは ※(2)にDX活用等の取組による多様な働き方としては…。但し、デジタル化に対応が難しい弱者への配慮が必要と思います。	・重点目標2(4)を削除し、内容は他の基本的方向へ組み入れました ・2(4)を削除したことにより、(1)(2)(3)は雇用の場に関係することとまとまりができたと考えます。
		テーマⅡ 重点目標 3 の健康に係る項を重点目標 4 として起こす →重点目標 4 生涯を通じた男女の健康 (1)生涯を通じた男女健康の保持・増進 (2)妊娠・出産などに関する健康支援	テーマⅡを「あらゆる暴力の根絶と人権の尊重」から「あらゆる暴力の根絶と生涯を通じた健康支援」に変更しました。
		テーマⅡ 重点目標 5 防災・復興への取組や困難を抱える者への支援 ※多様性の尊重(削除) ※重点目標 3 人権の尊重に含まれる ・重点目標 6 (1)防災・復興…を入れる ・重点目標 4 (1)→(2)、(2)→(3)、(3)→(4)	防災・復興は、災害を防ぐまたは減災の意味を含むため、災害によって困難を抱えるという意味として捉えていませんので、事務局案のままとしました。また、「多様性の尊重」についても、新たな視点の一つになっていますので、事務局案のままとしました。
		テーマⅡ 重点目標 5 → 6 (4)に「キャリア教育」を入れても	御意見の趣旨は、素案本文作成に当たり、参考としました。
		テーマⅡ 重点目標 6 → 7 (5)として、長野県らしさ「自然との調和・共生」「ゼロカーボン」等を入れる方向	御意見の趣旨は、素案本文作成に当たり、参考としました。また、今後、施策の検討に当たっても参考にします。
		リード文 3つのテーマと6つの重点目標 → 7つの重点目標	健康に関する目標を新たに設けないことから、重点目標は6つのままとしました。
		管理職、役員等への女性の登用拡大 登用の数や率にだけ注目するのではなく、性別にとらわれない評価の先として、ここに結びつかなければいけないと思います。	御意見のとおりと認識しています。
	清水委員	重点項目を絞った形で良いと思いますが、パートナーシップでとSDGs、DXが何となく繋がりにくい感じがします。	「パートナーシップで」を「男女共同参画の視点で」に変更しました。
		テーマ 1：性別による偏りの解消の観点から、キャリアの継続・向上での就労継続のための環境整備が必要	御意見の趣旨は、素案本文作成に当たり、参考としました。
		テーマ 2：妊娠・出産だけでなく、不妊、不育のどの不安解消支援も必要 テーマ 3：パートナーシップと4点の基本的方向が具体的なイメージが湧きにくい	御意見の趣旨は、素案本文作成に当たり、参考としました。 「パートナーシップで」を「男女共同参画の視点で」に変更しました。
根橋委員	テーマⅡ「人権の尊重」に加え、「個人の尊厳」を加筆検討いただきたい。 男女不平等は、人権の尊重、個人の尊厳にかかわる由々しき問題であり、取り組みを進めることで、それらを基底に置いた社会を実現しなければならない。	御意見の趣旨は、素案本文作成に当たり、参考としました。	

区分	回答者	回答内容	対応
計画体系	根橋委員	テーマⅢ：男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備に「ポジティブ・アクションの理解浸透、推進」を盛り込めないか。 ポジティブ・アクションについては、その手法などで賛否の意見があるが、「ポジティブ・アクション」や「クリティカル・マス」など、根拠や必要性を含め、改めて理解浸透をはかることが重要であると考えます。	御意見の趣旨は、素案本文作成に当たり、参考としました。
		テーマⅢ：施策の基本的方向に、ジェンダー・バイアスを含め、「固定的性別役割分担意識」の払拭も加筆いただきたい。 固定的性別役割分担意識は、個性や能力よりも性別に重点を置くものであり、とりわけ女性にとって多様な働き方・生き方を制約する要因となっている。未だ社会に蔓延している固定的性別役割分担意識は、ジェンダーバイアスの払拭とともに力を尽くさなければならないため、基本的方向にも加筆検討いただきたい。	御意見の趣旨は、素案本文作成に当たり、参考としました。
	福盛委員	テーマ1の重点目標1のところは、賛同するものの、もう少し表現をダイレクトにできないでしょうか？「女性の登用拡大、採用促進」とあるものの「男性」に対して何に強くかかわってほしいのかというものが見えづらいと思います。地域のこと、子どもたちへのかかわりで男性にやってほしい事、やってもらわなくては、結果的に「女性のXXX」が実現できる人が限られてしまうのではないかと思います。	御意見の趣旨は、素案本文作成に当たり、参考としました。
		テーマ1の重点目標2はまさにその通りだと思います。ライフイベントによって一度離職してしまった女性の復職の支援は必須です。リカレント教育を企業に押し進め、それをした（する）企業を大げさなぐらいサポートする仕掛けが必要だと思います。	御意見の趣旨は、素案本文作成に当たり、参考としました。また、今後、施策の検討に当たっても参考にします。
		テーマ2も共感できます。DV等女性とありますが、ここも男性もあるかと思えます。全体的に女性が多いので表現上はこれでいいかと思えますが細部のところでフォローができればと思います。	「女性に対する」を削除しました。
		テーマ3も共感できます。男性の家事育児の参加はすべてのテーマをかなえていくうえでの一丁目一番地だと思います。学ぶ機会、男性たちが話せる、共有できる場を増やせる政策にしていければと思います。	御意見の趣旨は、素案本文作成に当たり、参考としました。また、今後、施策の検討に当たっても参考にします。
		推進体制の強化はコロナ禍で普及したオンラインをいかに加速させるか、あらゆる人が使いやすく、発信も受信もできる状態を整えていける内容にしていいただければと思います。貸館業務の時にも起こりうるハードルかと思えますが、受信は様々な企画や講座があり、充実していますが、地域の人が発信するとすると、発信のサポートや利用の規約が複雑であったり、制限が多かったりというのを感覚的に思っております。利用基準の緩和は難しいかもしれませんが、利用料や利用における広報のサポートなどは行政の力が役に立つのではないかと思います。	御意見の趣旨は、今後、施策を検討する上で参考にします。
	福盛委員	防災についてが体系の中でディレクトリが下がっていることが少し気になります。心配しすぎかもしれませんが、気象によるもの、今回のようなコロナによるもの等を考えたときに、この位置にすることで支援の手が今よりも優先度が下がってしまうのであれば、大きな課題になるのではないかと思います。	テーマの順番と施策の優先度は関係ありません。

区分	回答者	回答内容	対応
計画体系	古田委員	<p>重点目標6「パートナーシップで魅力ある地域を創出」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「男女共同参画」ではなく「パートナーシップ」を使う意味について説明できた方がよい。パートナーシップは、農村女性プランや自営業には以前から使われている言葉。参考にしてみるとよいのでは。 ・パートナーシップと(4)の若い女性はどう結びつくのか。 ・5(2)の「家庭生活でのパートナーシップ」と重複感がある。 ・「パートナーシップ」には、協力し合い認め合うというような意味がある。「参画」も単に「参加」よりも、頭を使って参加するという意味があるので、意味としては悪くないと思う。 	「パートナーシップで」を「男女共同参画の視点で」に変更しました。
	宮澤委員	<p>テーマⅢについて、重点目標5のすべての施策の基本的方向に共通していることは、教育と普及だと思います。したがって、5(2)を(5)に移動し、「ダイバーシティや男女共同参画を学び普及する機会の充実」とすればいかがでしょうか。</p> <p>また、説明文にもそれに沿って変えれば、より実効性を持つ表現になると思います。あるいは、「推進体制の強化」の(1)に教育と普及を盛り込むとよいと思います。</p>	御意見の趣旨は、素案本文作成に当たり、参考としました。また、今後、施策の検討に当たっても参考にします。
	宮島委員	<p>8つの柱を組み替えているところには特に異論はありません。</p> <p>前回発言したデジタル化もそうですが、せっかく新しい第5次計画なので、この先5年間を先取りし、今の変化を十分反映したいです。</p> <p>その中で、提案したいのが「ウイズコロナ」の章立てです。最近私が政府で関わっているすべての審議会でも「コロナによる変化への対応」を別立てで書いています。残念ながらこの先5年くらいコロナの問題抜きには政策は語れず、コロナで見えてきた課題もチャンスもあると思います。3つのテーマの前の「先出し」でもいいですが、これまでも延長の政策だけではないたちいかなないアピール含め、章立てのご検討をお願いします。</p>	御意見の趣旨は、素案本文作成に当たり、参考としました。また、今後、施策の検討に当たっても参考にします。
	山極委員	<p>テーマⅠ 「女性の職域拡大」「就業の継続やキャリア形成を支援」「女性の起業を応援」</p> <p>テーマⅡ 「ストーカーなどその他の暴力への対策」</p> <p>テーマⅢ 「男性は仕事、女性は家事・育児といった固定的性別役割分担意識の払拭」</p>	御意見の趣旨は、素案本文作成に当たり、参考としました。
		<p>テーマⅡ 文言の検討</p> <p>「困難を抱える者」→「困難な状況に置かれている者」</p>	御意見のとおり変更しました。
柄澤委員	<p>「あらゆる暴力の根絶と人権の尊重 (1) DV等女性に対するあらゆる暴力の防止」</p> <p>ハラスメントに関するもの全て含むとすると「女性に対する」だけではないのでは・・・と思うのですが・・・</p>	「女性に対する」を削除しました。	

区分	回答者	回答内容	対応
計画体系	宮島委員	推進体制ですが、「県全体で」では弱い印象があります。（そして、発信がセンターということも）あらゆる組織に「あなたも」「あなたも」ひとごとじゃないと意識してもらうために、計画をリードしてもらいたい組織をあげてもいいのでは、と思います。 ただ、これは章立ての中に細かく書くのならそれでもいいです。（１）で書いてあることの大きさに比べ（２）が小さい感じも。。。発信するのはセンターだけでなく、知事にも県職員にも発信していただきたいです。	施策の基本的方向について見直し、以下のとおり修正しました。 (1)県、市町村、関係団体等との連携・協働による男女共同参画社会づくりの推進 (2)男女共同参画センターの機能の充実・強化
その他	清水委員	コロナによって社会が大きく変化する中での、次期計画へのメッセージもようなものが分りにくいような感じがします。	御意見の趣旨は、素案本文作成に当たり、参考としました。

【賛同意見、感想等】

区分	回答者	回答内容
新たな視点	尾臺委員	「長野県を元気する」ために、次世代の活躍に大いに期待し、応援したい。特に若い女性が県外へ流出している現状からも「若者に選ばれる県をめざす」という視点は、直面している課題解決につながられるのではないかと思います。 SDGs、ダイバーシティは両方とも基本であり、時代に合う。そして世界の動向に目を向ける必要があるので良いと思います。
	清水委員	良いと思います
	宮澤委員	これでよいと思います。
	宮島委員	この3点いいと思います。特に後述するように、ウイズコロナで長野県は選ばれる県になりうるので、いろいろなことも変える、アピールするチャンスです。そもそも「男女共同参画計画」というのが、少し古い目標概念だと思っていて、（継続性があるので、変えられないと思いますが）この視点を前に出して世の中の流れに並走したいと思っています。
めざす姿	宮澤委員	これでよいと思います。
	宮島委員	これもいいと思います。 長野県の人材は真面目な分、他人にも同調性を求めすぎる部分があるのではないかと感じています。多様性を応援して、魅力ある住みやすい自治体を目指したいです。
計画体系	尾臺委員	県民が理解しやすいかたちになり良いと思います。
	根橋委員	体系については、全体をわかりやすく取りまとめていただいております、異論ございません。
その他	根橋委員	体系の取りまとめをいただいたことに感謝と敬意を表します。 官民を問わず意思決定の場を男性が占めてきた中で、新型コロナウイルス感染症が発生したことにより、とりわけ女性の人権や個人の尊厳が後回しにされている社会の現実が改めて浮き彫りになっています。その背景には、男女平等参画の取り組みは女性が中心に担うべきものとされている実態や、方針や施策自体が目的化され、地域全体で取り組むべきメインストリームになっていないことがあると考えます。 また、新型コロナウイルス感染症の発生を契機に、改めて男女平等参画に重きを置きながら、新しい社会づくりに向けた取り組みを模索していくことも求められています。 第5次長野県男女共同参画計画については、改めて必要性和意義を明確にし、共有をはかることで、具体的なアクションをさらに推し進めていく計画にしていかなければならないと考えています。